



チャレンジロードA-Eクラス、鈴木が引くメイン集団

シクリスムエコー No.158 2009年4・5月号



財団法人 日本自転車競技連盟 新役員の紹介…………… 2  
 会長就任のあいさつ…………… 3  
 平成21・22年度専門委員会委員…………… 3  
 平成21・22年度(財)日本自転車競技連盟 評議員名簿… 3  
 第34回チャレンジサイクルロードレース大会…………… 4



2009年トラック世界自転車競技選手権大会…………… 6  
 競技大会結果…………… 7



第56回全日本プロ選手権のお知らせ…………… 7  
 日体協公認「指導員養成講習会」受講者の募集について… 7



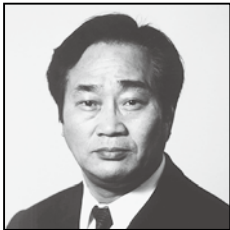
ツアー・オブ・タイランド2009…………… 8  
 平成20年度全国高等学校選抜自転車競技大会…………… 10  
 2009年版JCF競技規則集について…………… 11  
 JCF維持会員のお願い…………… 12  
 加盟団体住所変更のお知らせ…………… 12  
 JCF第1級公認審判員(トラック・ロード)…………… 12  
 連盟の動き…………… 12



この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。

<http://ringring-keirin.jp>

**財団法人 日本自転車競技連盟 新役員の紹介**



会 長 岩橋 昭一 (67)  
日本プロサイクリスト協会



副会長 鈴木 孝幸 (65)  
日本競輪選手会 (学経)



副会長 大島 研一 (63)  
全日本実業団自転車競技連盟



常務理事 井関 康正 (68)  
日本学生自転車競技連盟



常務理事 岡田 行雄 (62)  
鳥取県自転車競技連盟



常務理事 倉升 善徳 (60)  
JKA (学経)



常務理事 藤本 清孝 (61)  
兵庫県自転車競技連盟



常務理事 松本 秀憲 (51)  
熊本県自転車競技連盟



理 事 板垣 邦厚 (61)  
全国競輪施行者協議会 (学経)



理 事 奥田 悦司 (60)  
大阪府自転車競技連盟



理 事 坂井田米治 (52)  
全国高体連自転車競技部



理 事 佐々木 正人 (58)  
岩手県自転車競技連盟



理 事 竹沢 義忠 (57)  
福井県自転車競技連盟



理 事 富原 忠夫 (54)  
日本プロサイクリスト協会



理 事 中西 泰三 (67)  
徳島県自転車競技連盟



理 事 成田 昇 (56)  
日本プロサイクリスト協会



理 事 堀江洋一郎 (67)  
北海道自転車競技連盟



理 事 松村 正之 (54)  
静岡県自転車競技連盟



理 事 森 一起 (63)  
日本自転車競技会 (学経)



理 事 山崎 隆明 (51)  
大分県自転車競技連盟



監 事 林 辰夫 (56)  
大阪府自転車競技連盟



監 事 松尾嘉之輔 (54)  
花園園観光



顧 問 岡本 雄作 (74)



顧 問 阿部 毅一郎 (69)



顧 問 村田 統司 (69)



参 与 亀田 博文 (78)



参 与 鈴木 久雄 (75)



参 与 穴田 勝彦 (69)



参 与 加藤 昭 (66)

※ ( ) 内は 4 月 1 日現在の年齢。順不同。

## 会長就任のあいさつ



財団法人 日本自転車競技連盟

会長 岩 楯 昭 一

*S. Iwano*

平成21年3月25日の本連盟平成20年度第2回評議員会および平成21年4月8日の平成21年度第1回臨時理事会において役員改選の結果、平成21年、22年度（第8期）の会長に引き続き就任いたしました。

本連盟は平成7年に発足し、日本の自転車競技界を統括する団体として、創立14周年を迎えました。そして、昨年北京五輪においてケイリンで初の銅メダルを獲得することができました。

現在、本連盟は2012年のロンドンオリンピックでの金メダル獲得に向けて、フレデリック・マニエ氏（JCFナショナルディレクター）の指導のもと、強化トレーニングを行い、若手選手の育成を行っております。

つきましては、関係各位みなさまへ、更なる一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。会長就任の挨拶とさせていただきます。

### 平成21・22年度専門委員会委員

#### 〔総務委員会〕

委員長 藤本 清孝  
委員 奥田 悦司 竹沢 義忠 久保田 茂

#### 〔選手強化委員会〕

委員長 松本 秀憲  
委員 坂井田米治 佐々木正人 森 一起  
フレデリック・マニエ 班目 秀雄

#### 〔競技運営委員会〕

委員長 岡田 行雄  
委員 堀江洋一郎 松村 正之 山崎 隆明

#### 〔広報委員会〕

委員長 井関 康正  
委員 板垣 邦厚 中西 泰三 成田 昇

#### 〔アンチドーピング委員会〕

委員長 倉升 善徳  
委員 富原 忠夫 坂本 陽一 笠師久美子

### 平成21・22年度 財団法人 日本自転車競技連盟 評議員名簿

俵 信之（北海道）・久保 義春（青森）・主演 春蔵（岩手）・星 進一（宮城）・山田 義輝（秋田）  
小口 謙三（山形）・鎌田 弘史（福島）・坂巻 正巳（茨城）・雁部 護（栃木）・水島 洋一（群馬）  
渡邊 淳（埼玉）・廣瀬 来（千葉）・斎藤 邦夫（東京）・落合 健志（神奈川）・保坂 晴稔（山梨）  
中林 修（新潟）・浅香 英二（長野）・永原 守（富山）・山口 清孝（石川）・中梶 秀則（福井）  
井上 正継（静岡）・酒井 忠雄（愛知）・佐久間重光（三重）・國枝 一成（岐阜）・小西 良章（滋賀）  
千葉 嘉男（京都）・斧 隆夫（大阪）・徳丸 佳克（兵庫）・中尾 正信（奈良）・類家 信雄（和歌山）  
岩倉 誠（鳥取）・吉野 勝雄（島根）・近藤 忠彦（岡山）・川手 一則（広島）・小倉 英治（山口）  
高畑 秀規（香川）・久保 徹（徳島）・二宮 一（愛媛）・野本 博俊（高知）・高山 順（福岡）  
佐々木昭彦（佐賀）・永田 学（長崎）・中田 将次（熊本）・井上 徹（大分）・下村 守（宮崎）  
黒川 剛（鹿児島）・仲松太一郎（沖縄）・西山 吉信（実業団）・松倉 信裕（学連）・中村 雅章（高体連）  
佐久間信司郎・塚本 芳大・長谷川 勝（以上JPCA）

# 第34回チャレンジサイクルロードレース大会

**KEIRIN**  
00  
この大会は競輪の補助金を受けて実施されました



ゴール直後  
満面の笑みの野寺

A-Eクラス、ゴールスプリントを制した野寺(左)



A-Eクラスの終盤、逃げる3人(前から、綾部、野寺、普久原)

4月5日、桜満開の静岡・日本サイクルスポーツセンター 5kmサーキットで、恒例のチャレンジサイクルロードレース大会が開催された。

注目のA-E部門、過去2年間は同場所で1週間前に行われている東京都社会人対抗ロードでの勝者がチャレンジでも勝利しており、本年の東京都ロードはアンカーの普久原が優勝している。

終盤の3人の逃げにも普久原が入っており、今年もか!と思われたが、残念ながら3人のゴールスプリントで最初に離脱してしまう。そして、0.05秒差でスプリントを制したのは、地元の野寺(シマノ)であった。

## 【競技結果】

第34回チャレンジサイクルロードレース大会  
(2009/4/5 静岡・日本CSC)

### A-E (60km)

- 1 野寺 秀徳 JPCA シマノ 1:40:03.25
- 2 綾部 勇成 JPCA 愛三工業 1:40:03.30
- 3 普久原 奨 沖縄 BSアンカー 1:40:03.92
- 4 鈴木 真理 JPCA シマノ 1:40:19.12
- 5 山本 雅道 JPCA BSアンカー 1:40:19.19
- 6 品川 真寛 京都 愛三工業 1:40:19.42
- 7 飯島 誠 JPCA BSアンカー 1:40:19.69
- 8 辻 善光 大阪 マトリックス 1:40:20.28
- 9 米山 一輝 茨城 スーパー-K 1:40:20.36
- 10 真鍋 和幸 香川 NIPPO 1:40:21.52

### A-J (40km)

- 1 山本 元喜 奈良 奈良北 1:09:27.65
- 2 元砂 勇雪 奈良 榛生昇陽 1:10:05.75
- 3 木下 智裕 神奈川 六浦高 1:10:05.94
- 4 笠原 恭輔 埼玉 小松原 1:10:05.95
- 5 大中 巧基 京都 北桑田 1:10:05.97
- 6 西川 尚吾 東京 昭和一 1:10:05.99
- 7 清水 太己 東京 BS-E 1:10:06.09
- 8 新井 翔太 埼玉 川越工 1:10:06.10
- 9 椿 大志 東京 南多摩 1:10:06.10
- 10 長瀬 幸治 埼玉 栄北高 1:10:06.12



A-Fクラス、1位の森田が集団を引っばる



A-Jクラス、一人ぶっちぎりの山本



メインスタンド前で行われたB-Cクラス



A-Mクラス、優勝の大野を含む先頭集団



A-Uクラス、余裕のゴール嵐田

**A-U (40km)**

1	嵐田 義明	埼玉 BSアスカ	1:08:09.75
2	越海 誠一	大分 日本大	1:08:13.24
3	入部正太郎	奈良 早稲田	1:08:17.78
4	早川 朋宏	愛知 法政大	1:08:20.51
5	小段 亮	長崎 東京都市	1:08:21.99
6	金子 友也	東京 BS-E	1:08:22.09
7	西菌 良太	鹿児島 東京大	1:08:30.49
8	澤田 賢匠	京都 マトリックス	1:08:47.34
9	湯浅 徹	千葉 明治大	1:10:43.39
10	加藤 哲史	東京 順天大	1:10:48.65

**A-M (40km)**

1	大野二美雄	東京 大野写真	1:10:42.79
2	山本 二郎	埼玉 Forest	1:10:43.71
3	林 宏憲	福井 林電工	1:10:43.82
4	戸井 康之	埼玉 新和海運	1:10:43.90
5	清水 琢矢	香川 SpadeA	1:10:43.90
6	武田 秀明	長野 ミツミ	1:10:46.51
7	大橋 克弘	静岡 ススキ	1:10:48.32
8	高橋 秀樹	静岡 ヤマハ	1:10:49.11
9	追川 雅弘	神奈川 オースト	1:10:50.24
10	岩佐 英敏	神奈川 スキップ	1:10:53.90

**A-F (20km)**

1	森田 正美	神奈川 BSアスカ	40:11.25
2	西 加南子	千葉 -	40:11.41
3	井上 玲美	東京 チームコラテック	40:11.60
4	志村みち子	埼玉 ラヴニール	40:17.50

5	福本 千佳	大阪 履正社高	40:28.47
6	星川恵利奈	香川 看護学校	40:56.20
7	西塚 優美	埼玉 パールズミ	41:04.19
8	吉井 玲香	茨城 筑波大学	42:09.94
9	明珍 裕子	岐阜 朝日大学	42:20.35
10	戸井麻里子	-	42:51.00

**A-F-J (20km)**

1	福本 千佳	大阪 履正社高	40:28.47
2	湯坐 香子	福島 修明高校	43:00.44
3	武田 和佳	埼玉 川越工高	43:50.08

**B-1 (15km)**

1	岡本 隼	神奈川 YouCan	28:32.40
2	西村 大輝	東京 パインビルズ	28:32.44
3	廣瀬 元輝	福井 上庄中	28:55.11

**B-2 (25km)**

1	松原 創平	東京 なし	47:50.83
2	橋本 英也	岐阜 ぎなん	48:53.88
3	高木 義基	静岡 ホットロード	50:49.74

**B-3 (30km)**

1	菅野 正明	東京 TA-BO	55:30.26
2	岡田 知之	栃木 WADA	56:55.51
3	志村 俊宗	東京 首都大学	56:55.61

**B-4 (25km)**

1	本柳 隆志	栃木 WADA	45:05.25
2	鈴木 和典	東京 オースト	45:14.61

3	倉林 貴彦	神奈川 -	45:17.27
---	-------	-------	----------

**B-5 (15km)**

1	前田 和幸	東京 なるしま	27:20.22
2	山根 章	神奈川 幼が F.	27:26.45
3	北條 伸行	静岡 エブリ沼津	27:26.46

**B-6 (15km)**

1	望月 正彦	静岡 SWIFT	27:43.92
2	横山 和夫	神奈川 オースト	27:50.39
3	高橋 幸村	東京 なるしま	27:54.99

**B-7 (15km)**

1	望月 達子	静岡 SWIFT	33:37.65
2	田中木綿子	静岡 チームホト	33:50.15
3	鈴木 奈央	静岡 SpadeA	34:43.76

**B-C1 (2km)**

1	寺田 吉騎	静岡 アプロース	4:52.19
2	高梨万里王	静岡 チームホト	5:05.61
3	海野 晋作	東京 バイクルプラザ	5:10.94

**B-C2 (3km)**

1	小松 大悟	栃木 -	6:44.42
2	江越海玖也	神奈川 VAPOR	6:44.45
3	石井 洋輝	福島 白河一小	6:44.81

**B-C3 (5km)**

1	早川 裕紀	三重 Pro Ride	11:17.18
2	橋本 悠吾	石川 ウェルワークス	11:39.08
3	竹村 拓	大阪 カカワJ.	11:40.42

# 2009年トラック世界自転車競技選手権大会

盛がスクラッチで5位入賞!



トラックシーズンを締めくくる2009年トラック世界選手権大会が、ポーランドの首都ワルシャワの西側に位置する都市ブルスクフの「BGZアリーナ」(屋内・板張り250m走路)で、3月25日から29日まで5日間の日程で開催された。

日本からは、成田和也、渡邊一成、新田祐大(ともにJPCA・福島)、佐藤友和(JPCA・岩手)、盛一大(愛知・愛三工業レーシング)の5名が出場した。

大会初日の男子チームスプリントは、45秒139で8位に入賞。特に第1走者の成田が17秒865の好タイムであった。

大会2日目の男子スクラッチ(15km)には、盛が出場。今年2月に行われたワールドカップ第5戦コペンハーゲンで優勝し、期待がかかっていた。盛は6人の先頭集団で攻めるも、惜しくもメダルには手が届かなかったが、昨年よりひとつ順位を上げた5位と大健闘した。

大会3日目は1kmタイムトライアルに新田が出場し、順位こそ18位であったものの、自己ベストの1分03秒655と健闘した。



## 【競技結果】

2009年トラック世界自転車競技選手権大会 (2009/3/25-29 ポーランド・ワルスクフ)

### 男子スプリント

- 1 BAUGE Grégory FRA
- 2 AWANG Azizulhasni MAS
- 3 SIREAU Kevin FRA
- 22 渡邊 一成 JPCA JPCU福島
- 41 成田 和也 JPCA JPCU福島

### 男子1kmタイムトライアル

- 1 NIMKE Stefan GER 1:00.666
- 2 PHINNEY Taylor USA 1:01.611
- 3 TISIN Mohd Rizal MAS 1:01.658
- 18 新田 祐大 JPCA JPCU福島 1:03.655

### 男子ケリソ

- 1 LEVY Maximilian GER
- 2 PERVIS François FRA
- 3 MULDER Teun NED
- 21 佐藤 友和 JPCA JPCU岩手 1回戦敗退
- 25 渡邊 一成 JPCA JPCU福島 1回戦敗退

### 男子スクラッチ

- 1 KNEISKY Morgan FRA
- 2 COLLA Angel Dario ARG
- 3 MUELLER Andreas AUT
- 5 盛 一大 愛知 愛三工業レーシング

### 男子ポイントレース(40km)

- 1 MEYER Cameron AUS 24p
- 2 KREUTZFELDT Daniel DEN 22p
- 3 NEWTON Chris GBR 21p
- 11 盛 一大 愛知 愛三工業レーシング 5p

### 男子チームスプリント

- 1 France 43.510
- 2 Great Britain 43.869
- 3 Germany 43.912
- 8 日本チーム 成田・渡邊・新田 45.139

日本航空
空で逢いましょう。

Dream Skyward.

ご予約・お問い合わせ  
[www.jal.co.jp](http://www.jal.co.jp)  
 国内線 ☎ 0120-25-5971  
(営業時間 6:30~22:00/年中無休)  
 国際線 ☎ 0120-25-5931  
(営業時間 8:00~21:00/年中無休)

# 競技大会 結果

大会名、チーム名等については略して記載

## 2008 UCIサイクルワールドカップ Final (2009/3/14 スイス・オトリンゲン)

- 1 M. König / U. Berner RV Gartringen
- 2 M. Waldspuhl / P. Jiricek RV Winterthur
- 3 S. König / D. Schneider RC Hochst 1
- 10 松田 鋼 / 木下 直也 金剛東京

## MTB ジャパンシリーズ J1 XC#1 南さつま (2009/3/27-9 鹿児島・南さつま市)

### 男子エリート (40.54km)

- 1 小笠原崇裕 長野 OGA-ST 1:51:17.40
- 2 竹之内 悠 京都 TREK 1:51:17.41
- 3 Cooper Dylan 東京 TREK 1:51:56.40
- 4 山本 和弘 長野 キャノンデール 1:54:47.45
- 5 斎藤 亮 長野 Corratec 1:55:05.07
- 6 松本 駿 長野 TREK 1:55:53.74
- 7 Na Sanghoon FDR 1:56:08.15
- 8 藤本弥之助 山口 Corratec 1:56:47.97
- 9 合田 正之 埼玉 CC 3UP 1:56:48.09
- 10 江下健太郎 長野 トクロス 1:56:52.29

### 女子エリート (30.34km)

- 1 中込由香里 長野 SY-Nak 1:38:59.32
- 2 山本 佳苗 親山 BMC 1:44:11.61
- 3 重兼みゆき 愛媛 焼鳥山鳥 1:52:26.27
- 4 出町 有希 千葉 ヲザノート -1lap
- 5 西尾 美子 愛媛 焼鳥山鳥 -1lap

## MTB J2 XCO 緑山 (2009/4/4-5 神奈川・緑山スタジアム)

### 男子エリート (25.2km)

- 1 竹之内 悠 京都 TREK 1:16:09.39

- 2 山本 和弘 東京 キャノンデール 1:17:04.40
- 3 江下健太郎 長野 MX 1:18:30.56
- 4 平野 星矢 新潟 B.Ranch 1:18:48.65
- 5 合田 啓祐 長野 クルーズ 1:19:17.89
- 6 神谷 知明 東京 GIANT 1:19:37.57
- 7 山口 孝徳 長野 Endless 1:19:49.19
- 8 佐藤 誠示 埼玉 1:20:14.56
- 9 北島 篤志 東京 c-kiRin 1:20:36.51
- 10 鈴木 良則 東京 ヲザノート 1:20:36.68

### 女子エリート (16.8km)

- 1 矢沢みつき 山梨 Corratec 1:03:34.04
- 2 出町 有希 千葉 ヲザノート 1:09:53.02
- 3 原田 綾子 東京 Team FITTE -1lap

## — 全国地域別競技大会 —

## 第40回四国地域自転車競技選手権 (2008/11/22-23 高知・りょうまスタジアム)

### 男子エリート

- 1 阿部 弘 高知 明星産商
- 2 岡田廉太郎 高知 土佐高
- 3 辻松 裕之 徳島 徳島工高
- 4 表原 周 徳島 小松島高
- 5 竹村 達也 高知 高知工高
- 6 宮崎 太陽 愛媛 松山聖陵高

### 男子 1km タイムトライアル

- 1 矢野 賢児 高知 マリンワールド 1:10.24
- 2 小原 周祐 高知 高知東工高 1:13.52
- 3 辻松 裕之 徳島 徳島工高 1:13.76
- 4 久米 康平 徳島 小松島高 1:13.85
- 5 根本 裕也 徳島 小松島西高 1:14.32
- 6 大西 弘希 愛媛 松山聖陵高 1:14.36

### 男子ケリッ

- 1 矢野 賢児 高知 マリンワールド TT パンダ
- 2 阿部 弘 高知 明星産商
- 3 小原 周祐 高知 高知東工高
- 4 久米 康平 徳島 小松島高
- 5 岸野 哲也 徳島 小松島西高
- 6 中山 哲之 香川 リックアセナ

### 男子 4km 速度競走

- 1 山田 哲治 高知 マリンワールド 5:09.03
- 2 山崎 篤至 高知 高知工高
- 3 藤岡 克磨 徳島 徳島工高

- 4 中野 俊喜 愛媛 松山工高
- 5 高須賀 聖 愛媛 松山工高
- 6 村上 卓穂 香川 三村鉄工

### 男子ジュニア

- 1 田尾 駿介 高知 高知工高
- 2 福留 康介 高知 環太平洋大学
- 3 岸野 哲也 徳島 小松島西高
- 4 岡田廉太郎 高知 土佐高
- 5 藤岡 克磨 徳島 徳島工高
- 6 佐藤 潤一 香川 農業経営高

### 男子スクラッチ

- 1 横内 裕人 愛媛 松山聖陵高
- 2 大西 弘希 愛媛 松山聖陵高
- 3 中野 俊喜 愛媛 松山工高
- 4 坂本 光 徳島 小松島西高
- 5 山崎 篤至 高知 高知工高
- 6 竹原 僚一 徳島 阿南工高

### 男子ポイントレース

- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 1 山田 哲治 高知 マリンワールド | 74p |
| 2 田尾 駿介 高知 高知工高    | 55p |
| 3 坂本 光 徳島 小松島西高    | 31p |
| 4 松田 竜二 高知 高知東工高   | 11p |
| 5 藤岡 裕太 徳島 環太平洋大学  | 10p |
| 6 前園 浩平 愛媛 松山工高    | 5p  |

### 男子チームスプリント

- |               |         |
|---------------|---------|
| 1 高知 矢野・阿部・岡田 | 1:42.39 |
| 2 愛媛 宮崎・横内・大西 | 1:46.47 |
| 3 香川 佐藤・中山・尾崎 | 1:47.07 |
| 4 徳島 久米・根本・岸野 | 1:48.06 |

### 男子 4km 団体追抜競走

- |                   |         |
|-------------------|---------|
| 1 高知 山田・福留・田畑・田尾  | 4:48.80 |
| 2 愛媛 大西・高須賀・中野・前園 | 5:03.90 |
| 3 香川 佐藤・有光・尾崎・村上  | 5:13.62 |
| 4 徳島 辻松・室井・硫黄・吉川  | 5:20.15 |

### 県別対抗成績

- |      |      |
|------|------|
| 1 高知 | 106点 |
| 2 徳島 | 47点  |
| 3 愛媛 | 38点  |
| 4 香川 | 13点  |

KEIRIN



この大会は競輪の補助金を受けて実施されました

第56回

# 全日本プロ選手権 自転車競技大会

平成21年5月17日  
競技開始:9時30分  
花月園競輪場

**入場無料**  
ご来場者プレゼント  
各種イベントも  
盛りだくさん!!

競輪補助事業

■主催  
財団法人 日本自転車競技連盟  
日本プロフェッショナルサイクリスト協会

■主管  
社団法人 日本競輪選手会

※5月30-31日、同会場で「ACCトラックアジアカップ2009 日本ラウンド」が開催されます。  
競技開始:9時 入場無料 来場者プレゼント実施!

財団法人 日本体育協会公認  
「指導員養成講習会」  
受講者の募集について

平成21年度公認スポーツ指導員養成事業として、日本体育協会公認の「指導員養成講習会」(自転車競技)を実施することになりました。

この講習会は(財)日本体育協会(<http://www.japan-sports.or.jp/>)が実施する「共通科目」と本連盟が実施する「専門科目」の両科目から成り立っております。

詳しくは、各自所属の加盟団体にお問合せください。

# ツアー・オブ・タイランド 2009

平塚が個人総合 8 位!



## 4月4日(晴 32℃) ステージ1 Nong Khai → Nong Khai

町の中心から 10 時スタート、朝から 30 度以上の猛暑、スタート前から頭に水をかけ涼む選手たち。

市内の郊外を大きく一周してホテル前に帰ってくるコース。序盤から積極的なレース展開となり、15km 地点で内間を含む数名の逃げ集団が形成されるが、これは 10km ほどで吸収される。

常にアタックが繰り返される中、吉田、窪木を含む 9 人の逃げが集団を 3 分引き離すが、100km 過ぎで惜しくも吸収される。逃げの集団が吸収された直後、集団のペースが上がった所で、力を温存していた内間、平塚、青柳にアタックには必ず乗るよう指示する。予想通りアタック合戦となり、集団のペースが上がリメイン集団が大きくバラバラになる。

猛暑が厳しくなった後半、9 名ほどのトップ集団が形成され、内間と平塚が見事に残り激走を見せる。そのまま行けるかと思われたが、後続集団から数人の選手が追い付いて 19 名となりラスト 40km を切る。

韓国の選手がアタックを繰り返す中、内間と平塚も必死に食らいつく。トップ集団が 9 名となり内間に優勝の大きなチャンスがやってきた。

だがラスト 20km を切りトップ集団のペースが上がらず、切れていた後続の選手が追いついてきて、再び 19 名のトップ集団となる。ゴールスプリン

トを想定し、内間には力を温存させ、平塚はトップ集団のペースを落とさないように、ローテーションに入り集団をコントロールさせる。

ラスト 5km、内間にマークする選手の後ろに回るように指示を出す。予想通り激戦のゴール勝負となったが、内間は健闘惜しくも 4 位に終わった。

前半から積極的なレース展開で、常にトップ集団に入る素晴らしいレースを見せてくれた。

## 4月5日(曇 28℃) ステージ2 Nong Khai → Nong Khai

昨夜大雨が降り朝から湿度が高く蒸し暑くなった。昨日と同じ場所からスタート。ラオス国境の川沿いを北上し、スタート地点の町に帰って来るコース。

風が強クスタートから追い風となり、集団のペースが上がる。ハイペースでのアタックはなかなか決まらないが、18km 過ぎに青柳を含む 9 名の逃げが決まり、後続集団を引き離す。

総合に大きく影響する選手はベトナム、韓国の 2 名。集団も 2 分前後でコントロールされ、後半勝負のレース展開となる。内間と平塚は集団の中で力を温存させ、窪木と吉田に集団からのアタックをチェックさせる。

ラスト 50km 過ぎに集団からのアタックが激しくなり、逃げ集団とのタイムが徐々につまりだし、ラスト 30km 過ぎに青柳がトップ集団から遅れる。日本チームはメイン集団の先頭に立ちペースをあげる。

ラスト 1km で逃げ集団を吸収し大集団でのゴール勝負となった。経験の浅い内間は思うように前に出られず集団の中でゴール。残念な結果であったが全員トップ集団でのゴール。

レース全般での無駄な動きが、後半の勝負所でメイン集団からのアタックに乗れず、後続集団に取り残されてしまう要因になった。

## 4月6日(晴 30℃) 第3ステージ Nong Khai → Chiang Khan

思ったより湿度がなく日差しは強いが、爽やかなスタートになった。昨日と同じコースを北上し、そのままメコン川沿いに走りゴール。

終始追い風となった集団は、早いレース展開でアタックがかかる。青柳を含む最初の逃げ集団は吸収されたが、62km 地点で内間を含む 15 名の逃げ集団が形成される。

集団とのタイム差は 2 分前後で展開される、各チームとも最終戦に備え駆け引きが展開される。日本チームは内間がトップ集団に入ったことから無駄な動きをせず、明日に備え力を温存する走りにした。

トップ集団は徐々にタイム差を広げ、ラスト 50km 地点でメイン集団とのタイム差 4 分。146km 地点のスプリントポイントで Suh Seok Kyu が猛烈なアタック、そのまま独走態勢に入り逃げる。トップ集団は牽制気味の走りで、タイム差 50 秒前後。ペースが上がらず後続集団とのタイム差が縮まる中、内間に単独で Suh Seok Kyu を追うように指示。追走してきた 8 選手に吸収されるが、ゴール勝負 1 位通過でステージ 2 位。UCI ポイントを獲得し、総合で 2 位に上がる。

## 4月7日(晴) 第4ステージ Loei → Phu Ruea

10 時スタート。スタート地点は晴れて暑い日差しだったが、山岳地帯に入ると曇り、暑さもあまり感じられない。スタートして 10km ほど走るとアップダウンと悪路が続く。昨日までの平坦コースとは大きく変わり、600m 前後の坂が選手を苦しめる。

コースマップでは想像のつかない、思った以上に厳しいコースであった。KOM ポイントは真っすぐの上り坂で、



10%前後の壁が2kmほど続く。

辛うじて第2グループでゴールした平塚は総合で9位。UCIポイント獲得に最終日まで望みを繋いだ。

#### 4月8日(晴 30℃) 第5ステージ Loei → Na KhaUonthani

今日でロングステージは終わり、あとはクリテリウムのみ。昨日は惨敗に終わったので、総合8位までのUCIポイント獲得に望みを繋いだ平塚を中心に、ステージ優勝も視野にいれ、積極的に攻めるように指示する。

日本チームのアタックが無線でコールされる。無限の力を秘めている選手たちは日々レースの経験を積み重ね強さを発揮してくれる。

スタート直後から終始攻め、10km過ぎに吉田と窪木を含む19名のトップ集団が形成される。

平塚は惜しくもトップ集団には入れず、後続集団で後半のレース展開に望みをつなく。一方トップ集団に入っている窪木にはローテーションに入り集団のペースを落とさないように走らせ、スプリント力のある吉田に優勝を狙うように指示、集団の後方で力を温存させる。

50km走り後続集団とのタイム差5分、ゴールまで130kmありまだまだ安心できるタイム差ではない。ラスト30kmで後続集団に飲み物を渡し、トップ集団のサポートに上がる。タイム差3分と徐々に差を詰められてきた。

窪木にペースを上げるように指示。ラスト10km過ぎたところでトップ集団からアタックの掛け合いとなり、窪木にアタックをつぶさせる。ラスト3km窪木がアタック。追走したマルコポーロの選手が窪木を抜き去り独走でゴールに向かう。ラスト500m、満を持してアタックした吉田だったが、ゴール前わずかにマルコポーロの選手を差し切れず2位におわった。

結果に満足できるものでなかったが、逃げのレース展開を作り、窪木の徹底したアシストにより、吉田がステージ優勝争いが出来たことは、アシストに回った選手のチーム力であった。

#### 4月9日(晴 35℃) 第6ステージ クリテリウム(1周3.8km×20周)

10時スタート、終始積極的なレース展開でアタックを繰り返すが、逃げは決まらない。途中窪木が落車するが1周ニュートラルで集団に復帰、大きな怪我もなく日本チームは全員無事集

団ゴール。6ステージ、事故もなく元気に走り切ることが出来た。

#### <まとめ>

昨年のU23世界選手権参加枠を取れなかった日本チームは、積極的なレース展開で、内間が第3ステージで2着(UCIポイント5点)、個人時間総合でも2位に上がる。第5ステージでは、吉田がゴールスプリントで2着(UCIポイント5点)。

最終ステージで個人総合8位と同タイムの9位でスタートした平塚は、終始積極的なレース展開で攻め大集団ゴール。最後まであきらめなかった結果、同タイム8位の選手より先着したことで逆転し、個人総合時間8位(UCIポイント3点)。惜しくも区間優勝は出来なかったが、ジャパンチームは総力戦で今大会UCIポイント13点を獲得することができた。

(強化コーチ 高橋 松吉)

#### ツアー・オブ・タイランド2009 日本代表選手団

大会名 ツアー・オブ・タイランド2009  
(UCIアジアツアー 2.2)

開催場所 タイ王国・ウドンタニー

大会期間 2009年4月4日～9日

派遣期間 2009年4月2日～11日

代表選手団

監督 高橋 松吉  
(JCF強化コーチ)

メカニック 齋藤 健吾  
(JCFロード競技部会支援スタッフ)

マッサー 柿木 孝之  
(JCFロード競技部会支援スタッフ)

選手 内間 康平  
(沖縄・鹿屋体育大学)  
平塚 吉光  
(静岡・パルイズミ スミタ ラバネロ)  
吉田 隼人  
(奈良・鹿屋体育大学)  
青柳 憲輝(栃木・法政大学)  
窪木 一茂(福島・日本大学)

#### [競技結果]

ツアー・オブ・タイランド2009(アジアツアー-2.2)  
(2009/4/4-4/9 タイ・ウドンタニー)

個人総合成績(947.58km)

1 Andrew J. Bajadali KBS 22:12:43  
2 Sai-Udomsin Phuchong RTAF 22:13:11

3 Jonathan Lovelock PBR 22:13:23  
8 平塚 吉光 静岡 パールイズミ 22:15:01  
18 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 22:18:43  
42 青柳 憲輝 栃木 法政大学 22:28:47  
63 吉田 隼人 奈良 鹿屋体育大 22:36:06  
70 窪木 一茂 福島 日本大学 22:40:49

#### 団体総合

1 Kelly Benefit Strategies 66:40:14  
2 Seoul Cycling 66:44:09  
3 Max Success Sports 66:56:36  
5 日本チーム 66:56:57

#### 第1ステージ(187.74km)

1 Park Seon Ho SCT 4:24:28  
2 Shin Dong Hyun SOS 4:24:28  
3 Zachary Bell KBS 4:24:28  
4 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 4:24:28  
12 平塚 吉光 静岡 パールイズミ 4:24:28  
60 青柳 憲輝 栃木 法政大学 4:37:58  
61 窪木 一茂 福島 日本大学 4:37:58  
88 吉田 隼人 奈良 鹿屋体育大 4:37:58

#### 第2ステージ(174.79km)

1 Park Seon Ho SCT 3:57:19  
2 Zachary Bell KBS 3:57:19  
3 Shin Dong Hyun SOS 3:57:19  
29 平塚 吉光 静岡 パールイズミ 3:57:19  
44 青柳 憲輝 栃木 法政大学 3:57:19  
75 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 3:57:19  
76 窪木 一茂 福島 日本大学 3:57:19  
77 吉田 隼人 奈良 鹿屋体育大 3:57:19

#### 第3ステージ(185.00km)

1 Suh Seok Kyu SCT 4:07:52  
2 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 4:08:31  
3 Gong Hyo Suk SCT 4:08:31  
20 吉田 隼人 奈良 鹿屋体育大 4:09:20  
37 青柳 憲輝 栃木 法政大学 4:09:23  
57 窪木 一茂 福島 日本大学 4:09:23  
82 平塚 吉光 静岡 パールイズミ 4:09:23

#### 第4ステージ(138.20km)

1 Adam James Semple PBR 3:33:22  
2 Nell B. Shirley KBS 3:34:14  
3 Wong Kam Po HKG 3:34:33  
17 平塚 吉光 静岡 パールイズミ 3:34:33  
28 青柳 憲輝 栃木 法政大学 3:34:49  
53 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 3:39:13  
71 吉田 隼人 奈良 鹿屋体育大 3:44:00  
79 窪木 一茂 福島 日本大学 3:48:33

#### 第5ステージ(185.85km)

1 Spragg James MPC 4:31:27  
2 吉田 隼人 奈良 鹿屋体育大 4:31:27  
3 Sai-Udomsin Phuchong RTAF 4:31:27  
15 窪木 一茂 福島 日本大学 4:31:27  
27 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 4:33:09  
47 青柳 憲輝 栃木 法政大学 4:33:09  
48 平塚 吉光 静岡 パールイズミ 4:33:09

#### 第6ステージ(76.00km)

1 Hossein Nateghi IAU 1:36:09  
2 Park Seon Ho SCT 1:36:09  
3 Wong Kam Po HKG 1:36:09  
26 平塚 吉光 静岡 パールイズミ 1:36:09  
29 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 1:36:09  
36 青柳 憲輝 栃木 法政大学 1:36:09  
44 窪木 一茂 福島 日本大学 1:36:09  
59 吉田 隼人 奈良 鹿屋体育大 1:36:09

# 平成20年度全国高等学校選抜自転車競技大会

## 北桑田高校が学校対抗初優勝



北九州の地でおこなわれる大会も今回で3回目を数え、満開近くなった桜も歓迎ムードを演出し、北九州メディアドームをメイン会場に行われた。

### 男子ロードレース



予報では雷も心配されていたが、深夜から降り続いた雨が競技中も降り続けるあいにくの条件でのレースとなった。北九州市若松区につくられた7kmの周回コースへ、スタート地点からパレードスタートで移動し、周回コース途中から合流する1周目6kmと周回を10周する76kmで行われた。

レースに動きがあったのは、残り4周に入ってからで、若生朋宏(東京高専)、面手利輝(横浜)、大平将太(奈良北)、田尾俊介(高知工)が集団から抜け出した。しかし、その差は最大でも25秒にしかならなかった。その後、徳田鍛造(北桑田)らも加わるものの、残り1周には集団に吸収された。

勝負は、ゴールスプリントに持ち込まれることになったが、ゴール直前に集団で発生した落車で、昨年の埼玉総体を制した黒枝士輝(日出暘谷)らが



巻き込まれるアクシデントが起こる。自転車を担いでゴールする選手もいる中、昨年も本大会を制した元砂勇雪(榛生昇陽)が2連覇を達成した。2位には中里仁(小松原)、3位には和田力(和歌山北)が入った。

### 女子ロードレース

男子と同じコースを、41kmの距離で行われた女子は、序盤から飛び出して中盤には2位に2分30秒以上もタイム差をつけた上野みなみ(八戸工業)が、圧倒的な力で制した。2位には、終盤追い込みをみせた湯坐香子(東白川農商)が入った。

### 24km ポイントレース

初日のロードレースを連覇した元砂勇雪が、ポイントレースでも昨年に続き連覇を狙いにいったはずだが、2回のポイントの7点で10位に終わる、波乱の展開となった。

優勝を勝ち取ったのは、同じ奈良の山本元喜(奈良北)。初日に行われたロードレース14位の鬱憤を晴らすかのように、17周目から単独で飛び出し、37周目まで一人旅を続けた。その後、集団から飛び出してきた長江卓哉(八戸工業)、木村圭佑(瀬田工)とともにポイントを重ね30点を獲得し、2位の我妻優弥(学法石川)にもダブルスコアをつけて、優勝を勝ち取った。3位には序盤とフィニッシュでポイントを重ねた三浦康崇(八戸工業)が入った。

### 女子2km個人追抜競走

今年1月にシドニーで日本記録を叩き出している上野みなみが、賞祿を見せつけ優勝した。力的にも優勝は確実であり、小倉メディアドームということも前後ディスクを装着し、目標は自己記録の更新であった。しかし、予選、決勝とも記録が伸びず、大会記録の更新には至らなかった。2位にはロードレースでも2位に入った湯坐香子が、予選タイムで2分50秒を切る健闘を見せた。ロード競技後ということもあり疲れがあったのかも知れない。

### 男子3km個人追抜競走

ハイレベルの争いになり、5位まで昨年の優勝タイムを上回り、4名が40秒を切る好タイムであった。優勝は、予選で大会新を出した矢野智哉(岐南工)が、決勝でも順当に勝利をおさめた。

### 女子500mタイムトライアル

野村くるみ(内灘)が優勝。2位には小島蓉子(千葉経大附)、3位には健闘した三宅愛梨(玉野商業)がそれぞれ入った。

### 男子1kmタイムトライアル

昨年、都道府県スプリント優勝で頭角をあらわし、国体1kmタイムトライアルで4位入賞した窓場千加頼(向陽)が、2位の末木浩二(甲府工)をコンマ85のタイム差で振り切り優勝。

### 男子スクラッチ

序盤、埼玉総体において同種目3位に入った伊波直人(北中城)が飛び出すものの集団はすぐに反応し、逃げを許さなかった。しかし、残り10周に入り木下智裕(関東六浦)が一人飛び出す。集団は、それを容認した結果、半周程の差のまま木下は、終盤に入るまで、逃げ続ける。

集団の中で牽制に入り、そのまま木下の逃げを許すことを嫌った伊波が単独で追いかけるものの差は埋まらず、逆に集団が吸収する。その直後、渡邊浩幸(岐南工)が、集団から飛びだし、一気に前を走っている木下に追いつく。しかし、集団を山本慎一(榛生昇陽)が引き始めたことで、一気に一つの集団にまとまり、ゴール横一列になだれ込むスプリントになった。僅差を制したのは宮野海(北桑田)で、2位には谷本健太(春江工)、3位には河賀雄大(広島城北)が入った。

### 女子スクラッチ

スタート後、下久保初菜(北桑田)が積極的に前に出る展開を見せたが、その差は50mにしか広がらず、集団へ吸収される。その後、岩田知夏(北桑田)も飛び出す、すぐに吸収される。

力に勝る上野みなみが残り7周で飛び出し、小島蓉子がすぐ後ろにつくものの、そのペースについていけず、上野がそのまま独走でゴールを切り優勝。ロード、個人追抜とともに3冠を達成する。2位には集団スプリントの頭をとった下久保初菜が入った。

### スプリント

決勝まで順当に勝ち上がってきた木村弘(八戸工業)と岡田廉太郎(土佐)の対戦になった。1回戦は、岡田が先行策をとったが、地足に勝る木村



がゴール前、易々とまくり一本先取。2回戦は力を見切った木村が先行策をとり、そのままゴールしスプリントを制した。

3位には橋本凌甫(日大豊山)。4位には予選タイム12位ながら勝ち上がってきた笠原大希(栄北)が入った。

#### ケイリン

ペーサーの後ろを岡城暢文(昭和一学園)と中井俊亮(榛生昇陽)の取り合いになったが、一番くじをひいた岡城がつく。しかし岡城は福田拓也(作新学院)を前に入れ、並びは福田-岡城-中井-浜地(北桑田)-渡辺(白川実業)-横山(取手)-久米(小松島)-白水(祐誠)で落ち着く。

最終コーナーをうまく回ってきて、伸びを見せた浜地一徳が制した。

#### 学校対抗

学校対抗は、すべての種目において入賞に絡んできた京都府立北桑田高校が制し、学校対抗初優勝を飾った。8月に地元ブロックで開催される奈良インターハイに向けて大きな弾みがあった。(中田 将次)



### 【競技結果】

平成20年度全国高等学校選抜自転車競技大会(2009/3/22-24 福岡・北九州)

#### 男子スプリント

- 1 木村 弘 青森 八戸工業
- 2 岡田廉太郎 高知 土佐
- 3 橋本 凌甫 東京 日大豊山
- 4 笠原 大希 埼玉 栄北
- 5 野上 侑矢 岡山 岡山工
- 6 戸田 康平 香川 石田

#### 男子1kmタイムトライアル

- 1 窓場千加頼 京都 向陽 1:08.052
- 2 末木 浩二 山梨 甲府工 1:08.902
- 3 伊藤 裕貴 三重 朝明 1:09.077
- 4 坂本 周輝 青森 八戸工業 1:09.710
- 5 小池 悠太 埼玉 小松原 1:10.039
- 6 河野 伸広 福島 岩瀬農 1:10.072

#### 男子ケイリン

- 1 浜地 一徳 京都 北桑田
- 2 中井 俊亮 奈良 榛生昇陽
- 3 横山 尚則 茨城 取手一
- 4 岡城 暢文 東京 昭和一学園
- 5 久米 康平 徳島 小松島
- 6 福田 拓也 栃木 作新学院

#### 男子3km個人追抜競走

- 1 矢野 智哉 岐阜 岐南工 3:37.669
- 2 野村 厚貴 鹿児島 南大隅 3:38.710
- 3 大中 巧基 京都 北桑田 3:40.440
- 4 野口 裕生 熊本 九州学院 3:40.556
- 5 黒瀬 耕平 岡山 岡山工 3:40.055
- 6 高宮 佑介 宮城 東北 3:41.206

#### 男子スクラッチ

- 1 宮野 海 京都 北桑田
- 2 谷本 健太 福井 春江工
- 3 河賀 雄大 広島 広島城北
- 4 梅原 快斗 京都 北桑田
- 5 廣田 敦士 三重 暁
- 6 横内 裕人 愛媛 松山聖陵

#### 男子ホールドレース(24km)

- 1 山本 元喜 奈良 奈良北 30p
- 2 我妻 優弥 福島 学法石川 15p
- 3 三浦 康嵩 青森 八戸工業 11p
- 4 倉林 巧和 群馬 前橋工 10p
- 5 新井 翔太 埼玉 川越工 10p
- 6 田尾 駿介 高知 高知工 7p

#### 男子個人ロードレース(76km)

- 1 元砂 勇雪 奈良 榛生昇陽 1:52:17
- 2 中里 仁 埼玉 小松原 1:52:18
- 3 和田 力 和歌山 和歌北 1:52:18
- 4 木下 智裕 神奈川 関東六浦 1:52:18
- 5 新井 翔太 埼玉 川越工 1:52:18
- 6 西沢 倭義 京都 北桑田 1:52:18
- 7 末永 周平 宮城 東北 1:52:18
- 8 六峰 巨 大分 日出暁谷 1:52:18
- 9 中野 俊喜 愛媛 松山工 1:52:18
- 10 野口 裕生 熊本 九州学院 1:52:19

#### 女子500mタイムトライアル

- 1 野村くるみ 石川 内灘 39.595
- 2 小島 蓉子 千葉 千葉経大 39.873
- 3 三宅 愛梨 岡山 玉野商業 40.022
- 4 杉澤 彩 静岡 星陵 40.799
- 5 山田 まい 山梨 甲府工 41.573

- 6 湯坐 香子 福島 東白川農商 41.708

#### 女子2km個人追抜競走

- 1 上野みなみ 青森 八戸工業 2:41.345
- 2 湯坐 香子 福島 東白川農商 2:52.213
- 3 中村 妃智 千葉 千葉経大附 2:51.979
- 4 川崎亜里沙 山梨 甲府工 2:53.234
- 5 鈴木 遊 鳥取 倉吉総産 2:53.307
- 6 岩田 知夏 京都 北桑田 2:53.371

#### 女子スクラッチ

- 1 上野みなみ 青森 八戸工業
- 2 下久保初菜 京都 北桑田
- 3 川崎亜里沙 山梨 甲府工
- 4 小島 蓉子 千葉 千葉経大附
- 5 藤根 美咲 岩手 紫波総合
- 6 岩田 知夏 京都 北桑田

#### 女子個人ロードレース(41km)

- 1 上野みなみ 青森 八戸工業 1:11:12
- 2 湯坐 香子 福島 東白川農商 1:12:46
- 3 下久保初菜 京都 北桑田 1:14:35
- 4 丸田 京 東京 共立二 1:14:35
- 5 鈴木 遊 鳥取 倉吉総産 1:14:36
- 6 石崎 絵梨 長崎 大崎 1:14:36
- 7 川崎亜里沙 山梨 甲府工 1:14:36
- 8 神田 紗希 鹿児島 鹿児島実 1:15:37
- 9 武田 和佳 埼玉 川越工 1:16:18
- 10 中村 妃智 千葉 千葉経大附 1:16:19

#### 学校対抗成績

- 1 北桑田高校 京 都 32点
- 2 八戸工業高校 青 森 20点
- 3 榛生昇陽高校 奈 良 16点

2009年JCFジュニア強化指定候補選手選考会(2009/3/23-24 福岡・北九州)

#### 男子200mフライングタイムトライアル

- 等々力カウ 長野 岡谷工 11.177
- 和田真久留 神奈川 横浜桜陽 11.353
- 諸田 竣亮 埼玉 栄北 12.295

#### 男子1kmタイムトライアル

- 和田真久留 神奈川 横浜桜陽 1:08.964
- 等々力カウ 長野 岡谷工 1:10.363
- 笠原 恭輔 埼玉 小松原 1:10.738
- 出澤 拓也 神奈川 横浜 1:12.454
- 長瀬 幸治 埼玉 栄北 1:13.267
- 諸田 竣亮 埼玉 栄北 1:14.988

#### 男子3km個人追抜競走

- 笠原 恭輔 埼玉 小松原 3:45.814
- 長瀬 幸治 埼玉 栄北 3:50.904
- 出澤 拓也 神奈川 横浜 3:50.973

#### 女子200mフライングタイムトライアル

- 前田佳代乃 兵庫 県立西宮 12.685

#### 女子500mタイムトライアル

- 前田佳代乃 兵庫 県立西宮 38.552

\*記録のみで順位なし

### ●2009年版JCF競技規則集●

(財)日本自転車競技連盟2009年版の競技規則集が発行されました。ご購入希望のお問合せは、各加盟団体へお問合せください。

## — JCF 維持会員のお願い—

本連盟は平成7年5月にプロ、アマ統合によりわが国における自転車競技界を代表する団体として発足して以来、自転車競技の普及・振興に係る諸事業を展開してまいりました。今後も自転車競技のさらなる発展を期し、国内大会の充実や国際大会の開催・派遣等活発な事業展開を図る所存であります。しかしながら、これらの事業活動には多額の経費を必要とするため、連盟事務局は経費節約に努める一方、自主財源の増額を図ることが必要となっております。

本連盟では、自主財源確保の一環として従来から維持会員制度に基づき会員各位のご支援を仰いで参りました。

つきましては、平成21年度におきましても、出費ご多端の折誠に恐縮とは存じますが、何卒かかる実情をご理解いただき、自転車競技の健全な普及・振興のためご支援を賜りますようお願い申し上げます。

維持会費（平成21年度分）※詳しくはお手数ですが、JCF事務局総務部までお問い合わせください。TEL: 03-3582-3713

個人会員：年額10,000円を一口とし、一口以上。 団体会員：年額50,000円を一口とし、一口以上。

### <平成20年団体会員>

有限会社ケイデザインカンパニー、有限会社サイクル小野サッポロ、シマダ記章株式会社、ダイワボウプログレス株式会社、株式会社なるしまフレンド、株式会社日刊スポーツ新聞社、社団法人日本競輪選手会徳島支部、財団法人日本サイクルスポーツセンター、日本写真判定株式会社、日本プロフェッショナルサイクリスト協会、ブリヂストンサイクル株式会社、株式会社マトリックス、三井生命保険株式会社、有限会社メダリストプランニング

### <平成20年個人会員>

青木 勇、穴田 勝彦、猪狩 晋一、伊熊 牧治、石原 正和、岩井正二郎、岩城 光英、江原 敏郎、岡田 行雄、岡本 雄作、奥田 悦司、小野 盛秀、掛地 洋、桂 正洋、加藤 昭、鹿又 未可、亀田 博文、川崎 寿男、川手 一則、久家 修、久保 義春、栗原 朗、小口 謙三、古作 太一、後藤 太、小林 智昭、近藤 一夫、佐久間重光、佐久間信司、佐々木正人、佐藤 隆、柴沼正一郎、柴野 邦彦、主濱 春蔵、白井 滋、鈴木 孝幸、高野 晃、高橋 正雄、近成 保、塚本 芳大、辻本 誠、中西 泰三、中村 賢二、成田 昇、萩原 重一、平野 禎、深谷えり子、保坂 晴穂、星 進一、松尾嘉之輔、松倉 信裕、松田 和男、松田 隆、松本 秀憲、宮本 敏夫、村田 純司、村田 隆宣、森 清一、山口 清孝、山口 秀雄、山崎 隆明、山田 義輝、大和 孝義、鷲田 紀夫、渡邊 淳

## 加盟団体住所変更のお知らせ

### 宮城県自転車競技連盟

〒989-6311 宮城県大崎市三本木坂本字青山11 早坂 和広 様 0229-52-3173

### 福島県自転車競技連盟

〒963-6131 福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字東中居63 福島県立修明高校内 中野目 様 0247-33-3214

### 全国高体連自転車競技専門部

〒031-0801 青森県八戸市江陽1-2-27 青森県立八戸工業高等学校内 中村 様 0178-22-7348

### ● JCF 第1級公認審判員（トラック・ロード）

平成20年度第3回理事会（平成21年3月12日開催）で下記の方が第1級公認審判員として承認されました。

寺崎 豪紀（神奈川）・永井 辰雄（福井）・藪下 基（岐阜）・中田 秀穂（広島）・東山 和裕（香川）

## 連盟の動き（3月下旬～4月）

3月27日	平成20年度第3回広報委員会・広報部会	於：東京・日本自転車会館3号館3階
4月2日	ツアー・オブ・タイランド日本選手団出発	於：タイ・ウドンタニー → 帰国4/11
8日	平成21年度第1回臨時理事会	於：東京・日本自転車会館3号館4階

### < JCF オフィシャル・スポンサー >



### < JCF オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.158 2009年4・5月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯 昭一

編集人/井関 康正

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 日本自転車会館内

TEL03-3582-3713 FAX03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>